

市記入用

指定管理者評価シート(第1次評価)

所 管 課	こども家庭部 こども家庭室 子育て・家庭支援課
評価対象期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	川西市久代児童センター
	所 在 地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	児童の健全な育成を図るため、川西市久代児童センターを設置する。
利用料金制	非利用料金制 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。 (1)健全な遊びをととしての児童の集団的及び個別的指導に関する事。 (2)児童の体力増進の指導に関する事。 (3)子ども会、母親クラブ等の地域組織活動の育成及び助長に関する事。 (4)施設の使用の許可、その取消しその他施設の使用に関する事。 (5)施設及び付属設備の維持管理に関する事。 (6)開館時間及び休館日の変更に関する事。 (7)そのほか、市長が必要と認める業務に関する事。	
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A
① 事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	B
③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	A
<p>〔所見〕</p> <p>毎月、乳幼児・小学生別に事業計画を立て工夫を凝らして実施している。中学生においては、「トライやるウィーク」での受け入れ、高校生においても乳幼児と触れ合う事業、また、高齢者との触れ合う機会を持つなど、施設の利用者に有効な世代間事業等の取組みがなされている。広報についても、毎月行事予定表を作成したり、広報誌等を活用している。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>当該施設は、南部地域にあり交通手段が限られるため、利用者が限定されがちである。隣接施設の駐車スペースを活用するなど、利用者への利便性を図っているが十分とは言えない。</p>	
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A
① 施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A
② 実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B
<p>〔所見〕</p> <p>全体の利用人数は減少しているが、年代別の利用者を見ると、乳幼児と小・中・高生を比較すると乳幼児が多い。小学生については、友だちとの遊び場を他に見つけていることや、塾や習いごととも利用人数の減少の要因の一つと考えられる。そのような中、中・高生と乳幼児とのふれあい事業、乳幼児親子対象の事業等工夫を凝らし実施している。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>事業への参加人数の減少にはさまざまな理由が考えられるが、利用者が求めている事業か、参加しやすい事業であるかなど、アンケートを分析する必要があると考える。</p>	
(3) 利用者の満足度	A
① 利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A
② 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	B
③ 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A
④ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B
<p>〔所見〕</p> <p>苦情があれば迅速に事実確認し対応している。事業ごとにアンケートをとり次回の事業への参考にしている。子ども向け以外にも母親、父親対象の講座にも取り組んでいる。</p>	
<p>〔改善項目〕</p> <p>中・高生や父親・母親・親子を対象とした趣向を凝らした取組みを行っている。多種多様の要望の中で、すべての利用者に反映させることは容易ではないが、今後も要望に沿えるよう事業の実施に取り組む必要がある。</p>	

評価項目及び評価のポイント	評価 レベル
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A
(1) 経費の節減	A
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A
② 指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A
<p>[所見]</p> <p>最少の経費で最大の効果がでるよう、職員全体で取り組んでいる。施設について、築年数が経過し老朽化していることから、修理費用等が増える。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>経費を節減することにより、子どもたちの安全が守られなくなることはないよう、危険か所については、速やかな修繕等を今後も望む。</p>	
(2) 収入の増加 ※利用料金制を採用している場合のみ評価	評価なし
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	
<p>[所見]</p>	
<p>[改善項目]</p>	
(3) 収支のバランスなど ※利用料金制を採用している場合のみ評価	評価なし
① 収支のバランスが適切であったか。	
② 経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	
<p>[所見]</p>	
<p>[改善項目]</p>	

評価項目及び評価のポイント		評価レベル
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】		A
(1) 管理運営の実施状況		B
① 施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。		C
② 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。		B
③ 施設の維持管理が適切に行われたか。		A
④ 指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。		B
<p>〔所見〕</p> <p>清掃、施設の保守点検等維持管理について、適切に行われている。老人福祉センターと併設され職員も兼務となっているが、各事業においては、職員間の協力姿勢をとっている。</p> <p>〔改善項目〕</p> <p>老人福祉センターと兼務であり、雇用形態もさまざまであることから、事業に支障がないよう人員配置を考える必要がある。</p>		
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		A
① 施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。		A
② 施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。		A
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。		B
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。		A
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。		A
⑥ 利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。		A
⑦ 利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。		
<p>〔所見〕</p> <p>子どもたちが、安全に過ごせるよう、常に点検を行い危険か所があれば即修理等行っている。けが等が発生した場合の処置、連絡などの対処は適切に行っている。</p> <p>〔改善項目〕</p> <p>子どもの行動は予測しにくい、何が事故につながるかわからない。については、危険か所がないか等利用者が安全に過ごせるよう、点検を行う必要がある。</p>		
総 合 評 価		
〔所見〕	評価ランク	A
<p>南部地域の唯一の児童厚生施設であることから、多くの利用がある。安心・安全に過ごしてもらおうことができるよう、事業についても常に見直し(振り返り)が必要である。十分ではない職員数で、工夫を凝らした事業を実施している。今後は、川西児童館、子育て・家庭支援課等子育てに関わる部署と連携しながら、子どもたちに健全な遊び、子育て支援を行ってほしい。</p>		
<p>〔改善項目〕</p> <p>子どもたちに健全な遊びを与え情操豊かにし、子育て親子が安心して安全に過ごせるよう、また、地域とのつながりを深めることができるよう努める。</p>		